

http://www.minamih.net/



11・5・15(日)
南NEWS NO12

第35回全日本少年サッカー大会東京都 12ブロック(八王子・日野)予選

(4チーム都大会出場) 2011年4月29日(金・祝)
五月晴れの空の下、ホームの日本文化大グラウンドで、
少年サッカーの1番大きい大会が始まりました。
○1次リーグM組

第1試合 南八王子2-0西八王子 前半2-0

得点者: 加藤君、工藤君

☆ チームのめあて

- ①コンビネーション
- ②サイドチェンジ
- ③当たりを強く(コンタクト)
- ④コミュニケーション



立ち上がりから南のペースでした。2分に吉田君のシュートで始まり、多くのシュートを南が打ちました。

3分に吉田君が相手ボールを奪い加藤君にパス、受けた加藤君がペナルティーアークからシュートし1点目フィニッシュ。3分には小澤君が左からミドルシュートを打ちました。14分吉田君のパスを受けた工藤君がペナルティーエリアにドリブル突破しGKを良く観てシュートし2点目をフィニッシュしました。

24分CKを細川君がヘディングシュートをしましたが惜しくも決まりませんでした。25分細川君がパスカットしドリブルで上がり吉田君がパスを受けミドルシュート、28分井上君パスカットからドリブルで上がり左からクロス、32分33分に工藤君がミドルシュートをバーとポストに当てました。途中替わった臼井君は、必死でボールを追い駆けてました。少しピンチもありましたが、全体的に南が優勢な試合でした。

第2試合 南八王子2-1陶鎔元八 前半1-0

得点者: 吉田君(2点)

☆ チームのめあて ①声(コーチング) ②サポート(攻撃の時オフの選手)

勝ち点、得失点差から引き分け以上で、2次トーナメントに勝ち上がりとなります。

この試合も立ち上がりは、南のペースでした。

2分CKのこぼれたところを惜しくも決められなかった。3分林君がパスカットからドリブルで切り込みクロス、吉田君が相手と競りながら上手く合わせて右隅にシュートし1点目をフィニッシュ。この後、林君のいいクロスが2度あったが惜しくも決まらなかった。19分相手のシュートをGK牛窪君が左に見事なダイビングでファインセーブしてくれました。中野君が相手ボールの時、第1DFに「左を切れとコーチング」し見事にボールを奪ったのは、二人でボールを奪う良いプレーでした。

後半、替わった矢久保君が前線でボールを追いプレッシャーをかけてくれました。少しずつ相手のペースになりましたがピンチを細川君・中野君が身体を張ってスライディングタックルで防いでくれました。5年生の平山君が入りゲームの流れがいい方へ変わり32分平山君のパスを受けた井上君がシュートしゴール前の混戦で吉田君が押しこみ2点目をフィニッシュ。34分相手のFKを決められましたが、最後、能登君・八木下君がフォアチェックに頑張り、逃げ切りました。5年生から観てきた試合の中でスライディングタックルが一番多く観られた試合でした。みんな白いパンツとストッキングが闘志で土色となり、輝いた笑顔で試合

終了のホイッスルを聴きました。2次トーナメントもガンバ!!
課題、

1. 守備

(1) オン・ザ・ボールの相手に 第1DFの質(アプローチとプレッシャーのかけ方)

(2) オフ・ザ・ボールの相手に カバーリング、同一視野、スペースマーキング

2. 攻撃

(1) オン・ザ・ボールの選手 ボールを失わない

(2) オフ・ザ・ボールの選手 サポートの意識・コミュニケーション

3. 攻守の切り替えを素早く

by 染谷コーチ



全日本12B予選 2次トーナメント戦 2011.05.03 北川原

G

○1回戦 南八王子2-2東八王子 前半1-0 得点 工藤君2

2PK3

今回の12B2次予選、開始から終了まで全力で全員で戦ったこの試合で6年生は今までよりさらに強くなると思いました。

相手のキックオフ早々から厳しく工藤君がしかけ、そこからパスが出たところに荻沢君が詰めて奪い、工藤君が先制のシュートを撃ちます。

前半6分、加藤君が自陣でボールを持つと、「周!」と呼びながら走りだした工藤君にロングパスを出し、キーパーと1:1になりました。そこは惜しくもはずしてしましますが、その3分後に吉田君がドリブルで持ちだしたボールを、工藤君が先制のシュートを決めます。

サイド突破されても林君、中野君、小澤君がしつこく追いつき奪い返します。シュートを細川君が鋭いスライディングで止めます。ボールを持ちこまれ攻め込まれる場面でも加藤君、中野君が厳しいプレッシャーをかけ、細川君が奪います。

後半の南のキックオフでも、いきなり吉田君がドリブル突破からシュートを放ちました。途中から出場した5年生の平山君も、6年生に対し胸トラップやヘディングで競り合い、ドリブル突破、ダイレクトパスと、自分の持てるものをどんどん出しました。

後半3分には工藤君が左サイドをドリブルで駆け上がり、そのまま相手DF・GKを抜き去りシュートを決め2-0とします。慣れないミッドのポジションに入った井上君もGAMBARI、チーム全員が常に集中して動いていたことにより個人技が有効に機能しました。

その後、少し気を抜いたか、それとも勝負の妙か、4分と17分に点を取られ2-2でPK戦となってしまいました。一度ベンチ前に帰って来たキーパーの牛窪君に小澤君から「がんばれ」の声がかかります。少し緊張していた牛窪君の顔が和らぎ、その効果でしょう、相手3本目のシュートを右へのダイビングで止めました。しかし、4人に決められて惜しくもPKでの敗退となりました。

一人が仕掛ければ皆が動く、試合開始から終了まで、仲間を信じて集中して走り切ったナイスゲームでした。

by 伊藤コーチ

本当に惜しい試合でした。どんなサッカーをするのかがもっと明確であれば、きっと勝利し、次の相手、結果的に優勝した潤徳ガルーダとの対戦も分からなかったと思います。大きな可能性があります。努力次第です。どうする?!

One for All, All for One!!

さわやか杯に向けて自分達のめざすサッカーを創っていこう!! by 矢上